

2021年度事業計画書（第10期）

第10期 2021年8月1日から2022年7月31日まで

特定非営利活動法人フェアスタートサポート

1 事業活動方針

新型コロナウイルスの影響で実施方法が多様化した事業もあるが、受益者である施設等の希望に合わせて対面、非対面双方から支援方法を選べるように提供方法を整え、感染症の感染拡大に配慮し安全を確保しながら事業を実施していく。また、寄付によるファンディングの強化や、日本各地の児童養護施設が地域の企業と直接繋がり、子ども達へのキャリア支援を充実させる為の支援にも取り組み始める。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 児童養護施設等の社会的養護のもとで生活する児童、定時制高校等に通う生徒へのキャリア教育事業

ア 社会的養護や定時制高校等に在籍する児童への就職相談

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす児童や定時制高校等に通う生徒の就職の相談業務を通じ、就労体験や会社見学など必要なステップへとつなげる。また、必要に応じて適性検査も実施し、一人ひとりの興味や適性に沿った就労支援を実施する。
適性検査は社会の状況を鑑み、郵送での検査キット貸し出しやテレビ電話等を活用した非対面でのフィードバックにも力を入れる。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 関東圏を中心とした児童養護施設、定時制高校等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 社会的養護や定時制高校等の児童、生徒、教職員、里親等
- ・予算額 2,500,000円

イ 会社見学、就労体験のコーディネート

- ・内 容 受け入れ先企業と社会的養護のもとで暮らす児童や定時制高校等に通う生徒の会社見学や就労体験をコーディネートする。実際に就職する前に多様な職種を体験する事で、納得感の高い就労につなげ、早期離職を予防する。
- ・日 時 依頼に応じて随時
- ・場 所 各受け入れ先企業
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 社会的養護や定時制高校等の児童、生徒、教職員、里親等
- ・予算額 585,000円

ウ 神奈川県内の児童養護施設 6 か所におけるサポーター企業事業

- ・内 容 選定した県内の 6 施設と、各施設の地域企業サポーターとの交流を通じた就労支援を行う。サポーター企業による施設訪問やオンラインを活用して双方が交流する機会を設け、個別での会社見学やインターンシップにもつなげていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 各施設、企業、ZOOM によるオンライン等
- ・受益対象者 対象施設の入所児童、企業関係者 等
- ・従事者人員 4 人
- ・支出額 4,000,000 円

エ プログラミング教室

- ・内 容 児童養護施設等に入所する児童を対象とした 1 日開催の単発教室。協力企業と連携してプログラミングの基礎を学ぶ教室を開催。
- ・日 時 2021 年 11 月
- ・場 所 児童養護施設 至誠学園
- ・受益対象者 入所児童
- ・従事者人員 2 人
- ・予算額 200,000 円

オ 群馬、茨城、静岡県における地域の児童養護施設と企業のコーディネート

- ・内 容 群馬、茨城、静岡県内の児童養護施設と地域の企業の顔の見える関係性の構築を目的に、交流会や見学会を開催する。両者の関係性を構築することで児童養護施設の児童の会社見学や就労体験に繋がるなど、各施設における就労支援の幅の広がりが期待できる。
- ・日 時 通年
- ・場 所 各児童養護施設、各企業、地域の市民活動センター
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 神奈川・東京以外の関東圏の児童養護施設や地域の企業
- ・予算額 945,000 円

カ 情報誌「エール」の発行

- ・内 容 社会的養護等のもとの生活を経験し、社会人として自立した 20 代の若者や 30～40 代の方のインタビュー等を集めた冊子を刊行し、全国の児童養護施設等に無料送付する。
- ・日 時 2021 年秋から冬頃に発行予定
- ・場 所 全国の児童養護施設、自立援助ホーム、定時制高校等へ郵送
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 全国の社会的養護のもとで暮らす児童等
- ・予算額 480,000 円

キ 企業情報サイト「18スタート」と「フェアスタートパートナー」の運営

- ・内 容 社会的養護のもとで暮らす児童や定時制高校等に通う生徒の会社見学や就労体験の受け入れ先企業の情報サイトを運営する。
- ・日 時 通年 新サイト「フェアスタートパートナー」は2021年10～11月頃公開予定
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 全国の児童養護施設等職員、定時制高校教員、社会的養護等の児童
- ・予算額 5,045,000円

ク キャリア教育動画の作成配布事業

- ・内 容 施設出身の社会人が自身の仕事や職場の紹介したり、これから社会へ出る施設入所者へのメッセージを届けたりするメッセージ動画等を作成し、神奈川県内の施設へ配布する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 東京、神奈川県内の企業やレンタルルーム
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 全国の社会的養護のもとで暮らす児童等
- ・予算額 3,110,000円

② 児童養護施設等の社会的養護や定時制高校を経て就労した若者のアフターフォロー事業

- ・内 容 就労継続のためのサポートとして、本人の状況に応じた個別相談を受け付ける。また、社会的養護等で育った若者が参加できるイベント等を企画・運営する。
- ・日 時 交流イベント：状況を見て可能な範囲で年に数回実施
個別相談：随時
- ・場 所 神奈川県、東京都内を中心に各地
- ・受益対象者 社会的養護等のもとで育った若者
- ・従事者人員 3人
- ・予算額 735,000円

総事業費 17,600,000円